

(様式3)

## 自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b> <b>1. 理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な環境と地域住民との交流の下で、その人の個性を尊重し、尊敬の心を忘れず、なじみの関係を築きながら、住み慣れた環境のもとでその人の地域生活の継続を支援します。」	
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内およびスタッフステーション内に掲示し朝礼時スタッフ一同暗誦し、日々の勤務の中で理念の内容のみでは無く、その根拠や背景を職員が理解できるように伝えていきます。職員に期待する内容も具体的に伝えていきます。	
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族の方々には運営理念、重要事項説明書及び利用者入居契約書に基づき、管理者が説明を行い、同意書を徴しています。説明に関しては、ご家族に対して極力解りやすい言葉で説明するよう心がけています。	○  地域住民との交流の機会を作り、社会資源を活用し利用者が地域の人々と触れ合い、認知症への関心が深まり、理念を理解していただけるよう努力していきます。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームが近隣住宅から離れていることもあり、地域の人々と声を掛け合ったり、気軽に立ち寄ってもらえる日常的なつきあいでできていない。	○  お天気の良い日、散歩、買い物に出かけ近隣の皆様と接する機会を作っている。最近では職員の友人・知人が、ホームを見学に来られることが多い。
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	去年より近隣の大学の研修生を受け入れ、利用者と一緒に作業をしたりゲームをしたりして楽しく過ごしています。またふれあいセンターに赴きお茶を飲みながらカラオケやお喋りをし、和やかな雰囲気の中で交流を深めています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在のところ外部に対してグループホームとしての取り組みはおこなっていません。認知症に対するケアや意識付け等提供できる資源は提供したいと考えています。		今後、地域活動の中で提供できる場があれば積極的に取り組みたいと考えます。
<b>3. 理念を实践するための制度の理解と活用</b>			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	過去3回の受審で頂いたアドバイスを無理の無いところで業務改善や入居者の生活に取り入れるよう試みている。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	生活の幅を広げることに對して頂いたアドバイスを日々の生活の中に取り入れて外出の機会や日常的に取り組める買い物やお料理会を実践している。		
9 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	あんしんすこやかセンター職員と日頃より連絡を持っている。地域の資源についてアドバイスいただき利用につなげている。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	認知症サポーター養成講座＜認知症を学び地域で支えよう＞の研修の中で職員一同学びました。		さらに知識を深め必要な人には活用できるよう支援していきたいと思います。個々の必要性についての話し合いは難題ではあるが取り組んでいきたい。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について勉強会を実施した。日頃より虐待についての意識を持続できるように啓発パンフレットを目にとまる場所に設置しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		特に家族の面会日、家族、利用者の要望や意見が、気兼ねなく話し合える雰囲気作りをしていきたいと思ひます。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	出きる限り異動のない様に配慮しています。やむを得ず異動や離職がある場合は引継ぎ期間を十分に確保し、利用者へ影響を与えないよう努めています。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年計画的に全スタッフが研修を受けられるように配慮しています。		
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人内のグループホームと交流会を持ち、一緒に食事をとり過ごしました。今後も計画を続けて行きたいと考えています。		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	いつでも、気軽に話ができるように努めています。スタッフルーム横の休憩室にカーテンを設置し、職員が一息入れることができる空間を確保しています。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修会への積極的な参加を勧め、資格取得についても勤務を配慮する等意欲的に取り組めるように配慮しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>アセスメントの重要性をいつも確認し、傾聴の大切さを日々の業務の中で意識して対応しています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>アセスメントの重要性をいつも確認し、傾聴の大切さを日々の業務の中で意識して対応しています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居者の生活と思いを汲み取り家族の思いとのずれがある場合、修正をかけると共に他のサービスについての情報提供も合わせて行っています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居契約前に体験入居を行ったことがあります。入居者本人・家族共に生活環境の変化に対する不安が強く話し合いだけではなかなか納得できなかったので実際に1週間を目処に体験利用を実施しました。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>尊敬の心を忘れず、介護する、される関係ではなく、共に学び、支えあい、豊かな感性をもって、毎日、一緒に楽しく、ゆっくりと、穏やかで、活力のある日常生活が過ごせるよう取り組んでいます。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	ご家族と共に考え、情報交換を行い、共に安心して生活していくという認識で、人間関係を築いています。ご家族様と協力し合って、利用者が穏やかに暮らせるよう、心がけています。		
29 利用者との家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者が生きていくことにおいて、家族としての関係が繋がっていくことを、大切にしながら家族ができることや、家族しかできないことに、参加していただけるよう働きかけ、職員との信頼、協力関係を育んでいきたいと思えます。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所に出かけた時は、知人の方々が良く声をかけて下さいます。その折には是非、施設に遊びに来てくださる様、声かけしています。時より、利用者の知人、友人の訪問を受け、ホーム全員で歓迎しています。		
31 利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	どうしても、人間関係の良し悪しはありますが、職員が随時、間に入って 話を傾聴したり、気分転換をはかりながら、関係がスムーズにいくよう工夫し快い環境作りに努めています。		
32 関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	身体状況が理由で併設老人保健施設に入所された方々には、時々、面会に行ったり、1Fロビーでご家族と一緒に、おしゃべりして、良いおつきあいをさせて頂いています。転院された方々には、本人、家族の意向を踏まえた上で、面会に行っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや希望を、時間をかけて把握するよう心がけています。利用者の日々の会話や、行動から「利用者本位」を踏まえた上で、家族様にも情報を頂きながら、自立支援しています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>今まで地域の中で、どのような生活をされてきたかを少しずつお尋ねして基本情報シート等において記録し、定期的に見直しております。ご家族や、関係者からも、プライバシーに配慮しながら、情報収集することに努めています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>焦点アセスメントシートにおいて把握しています。できる活動・している活動・する活動を見極め、個々のリズムにあった、生活をしていただくことをモットーに個別援助しています。</p>	
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>画一的な介護計画ではなく、本人、ご家族の意見、希望を反映させ、スタッフ全員の提案、工夫を取り入れた、利用者本位の介護計画を作成することに心がけています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なケアプランの評価を行い、本人、家族、スタッフが話し合い、より良い介護計画を作成しています。また、利用者に変化があった時、本人、家族の要望が変わったとき等は、期間に関係なく、その都度、必要に応じて見直しをしています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	併設の老人保健施設との連携でお互いのノウハウを提供し合っています。	
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	生活の中に地域のふれあいセンターを利用させていただくことが増え生活の幅が広がっています。	
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	現在のところ他のサービスを利用することへの援助は行えていません。	
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	運営推進会議に地域包括支援センター職員に参加いただくことで情報の提供を受けやすくなり、また他の事業所の取り組みを紹介いただくことも参考になっています。	



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	今のところ、月2回ですが、回数を増やしていきたいと、思っています。
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		利用者の得意分野を活かした、役割、手作業、楽しみ事を、生活の中に取り入れ、活力のある生活が過ごせるよう取り組んでいます。職員が教えていただくことが日常多くあります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失等の懸念から、基本的には、ホーム管理としていますが、利用者の希望で、ご家族のご理解を得て自己管理されております。それによって、安心感を持たれており、柔軟な対応をしています。		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の会話の中で「行ってみたい所があるか」をさりげなく尋ねています。ホーム周辺の散歩は、希望時、気分転換に出かけています。		毎月2回ほど、近隣のマーケット、ホテル内ブティックに、買い物、ウィンドウショッピングに出かけ、気分転換をしています。外出の機会を増やしていきたいと思います。
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力を得て、一部の利用者が、墓参り、催しに出かけられています。ホームとしては、季節感のある場所へ、利用者全員出かける機会をつくり、援助しています。		外出支援の回数を増やしていきたいと思います。ホーム全員で利用者さんが、希望されている所へ、出かけられたらと考えています。
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	加齢に伴い難聴のため、スタッフがかわりに要件を伝えることが、多々あります。仲介役として、会話が成り立つよう支援しています。季節感のある八ガキを手作りし、ご家族、友人等に送り、関係が疎遠にならないよう努めています。		ご家族様と、疎遠にならぬよう、近況報告を兼ねたお便りを送る機会を作っていくよう努めます。
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも、気軽に訪問していただけるよう、対応しています。ゆっくりくつろいでいただき、スタッフも一緒にお話に加わっています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	併設の介護保険施設と共に、「身体拘束廃止委員会」を設置し、月1回、事例検討による、拘束に関する知識を学び、スタッフ一同それを共有し、実践に繋げています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は日中、一切かけていません。居室の鍵はかけたことはありません。玄関からフラッと出られる利用者には、止めるのではなく、一緒に花を観たり、散歩するなりして、気分転換を図っています。		
67 利用者の安全確認  利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員一同、常時、利用者様の行動、所在に、注意をはらい、プライバシーに配慮しながら、居室を見回り、安全が確保できるよう努めています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の管理能力に合わせて、対応しています。特に、馴染みの物品は、管理せず、時折点検して、危険のないよう取り組んでいます。		
69 事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員が常に、問題意識をもち、利用者一人一人の状態を把握し、見守り援助しています。ヒヤリ、ハット記録、事故報告書の記入を行い、職員同士が情報共有しています。		
70 急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応については、常時、利用者の健康状態を把握し、適切に行動できるよう話合っています。併設の医師、看護師に協力してもらっています。	○	スタッフの何人かは、市民救命士研修を受けています。資料等で職員全員が、知識を共有し、急変時に備えています。マウスピース、吸引ノズルを設置し、すぐ使用できるようにしています。今後、さらに訓練を重ねていきます。
71 災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、避難訓練を行っています。	○	運営推進会議等を通じて、理解を得、協力体制作りに、努めます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	併設の介護保険施設と共に、「感染防止対策委員会」を設置し、ホームからも委員を選出し、予防、対応に努めています。マニュアルに沿って感染防止を実行しています。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁等の調理器具は、毎回、洗浄、漂白殺菌し、冷蔵庫、ポットは定期的に洗浄し、衛生管理に努めています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花、野菜をプランター、鉢植え、花壇に育てています。散歩中の方や家族様が、興味深そうに覗き込んでいます。玄関には季節感のある手作りの作品を展示し喜んでいただいています。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、利用者手作りの作品を、季節に応じて飾りつけ、観葉樹を配置しています。家族様とくつろいでいただく空間作りをしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	机、ソファの配置を工夫し利用者・家族がくつろげる空間作りをしています。廊下、窓際には小さなテーブル・椅子とぬいぐるみと本を置き居心地の良い空間を作っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家財道具、懐かしい写真等を持ち込んでいただくようご家族にお願いしています、利用者の作品を展示し、季節感を感じていただき、日々の活力に繋げていきたいと思っています。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常にスタッフが気配りをし、空調管理に努めています。なるべく自然の風を取り入れ利用者個々に合わせた温度調整をしています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々に適した柔軟な環境整備が必要と考えています。バリアフリー、手摺設置、廊下幅等の環境は配慮できている。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室ドア横に表札を掲げ、独自の飾りつけをしています。トイレ位置はわかり易いように表示し混乱の無いように安全に環境整備をしています。		
87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物まわりのプランター、鉢植えには季節の花が咲き花壇にはトマト、スイカ、ブドウ、キュウリ、なすびを育てています。西側の庭の芝生にはプラム、梅、オリーブ等が育ち時々草むしり、植木の手入れをしています。東屋に行き日光浴をしています。		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ほぼ全ての職員が ○ 職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・地域に密着した取り組みを積極的におこなっています。
- ・職員間の人間関係を良好に保ち良いチームプレイが実践できる努力をしています。
- ・併設の介護老人保健施設があり、医師・看護師への相談や、アドバイスを受けることが出来る体制です。
- ・ホーム廻りに野菜、果物、草花を育て豊かな感性を育てています。